



▲交流事業に参加した皆さん

SUO-OSHIMA 日米子供サッカー

11月11日、「SUO-OSHIMA 日米子供サッカー」が、周防大島町陸上競技場で開催されました。

これは、在日米軍基地の家族と周辺住民との交流を目的に行われているもので、町内のサッカースポーツ少年団、岩国市および岩国米軍基地の子どもたちが参加し、サッカーボールを使ったさまざまなゲームを行ったり、日米混成チームで試合を行ったりするなかでコミュニケーションをとり、互いに交流を深めていました。

eスポーツを体験

11月29日、大島商船高専において、シニア向けのeスポーツ体験会が行われました。これはデジタル技術へ興味や関心を持ってもらうことや認知症予防、健康づくりを目的に山口県と周防大島町が開催したものです。

参加した皆さんは、大島商船高専の学生のサポートを受けながら、対戦形式のeスポーツを楽しみながら体験しました。

また、スマホ教室も行われ、町公式LINE「スマホ役場」の操作方法などを学びました。



▲大島商船高専コンピュータ部の学生に操作方法を聞きながら、eスポーツを体験する参加者

皆さんこんにちは。移住と空家の相談を担当している、地域おこし協力隊の岡本です。昨年9月に着任して、あっという間に1年が過ぎました。まだまだ力不足を感じている日々ですが、地域の方々から温かいお声掛けをいただいている励まされています。

私にとって周防大島は母の生まれ故郷で、幼い頃に何度も足を運んでいた愛着のあるところですが、着任してきただばかりのころは知り合いもいないため、不安に思うこともありました。自宅周辺の地域の方々とうながりができることを願いながら、童謡や唱歌を歌う会に参加しました。その中から、フォークダンスのサークルに誘ってくださる方があり、だんだんと声をかけていただくことが増えてきました。また起業家養成セミナーに参加したことも、大きな出会いの機会になっていきます。年齢を重ねても、夢を描いて生き生きと活動されている方が多いところ

皆さんこんにちは。移住と空家の相談を担当している、地域おこし協力隊の岡本です。昨年9月に着任して、あっという間に1年が過ぎました。まだまだ力不足を感じている日々ですが、地域の方々から温かいお声掛けをいただいている励まされています。

地域おこし協力隊員 岡本由紀子の
しましまタイムス

SHIMASHIMA TIMES

40

空家定住対策課

☎ 0820-74-1033



▲『お試し暮らし住宅』について説明する様子

ろだと感じています。

移住相談者の中には、町の様子をほとんど知らずに来られる方がいらっしやいます。実際の暮らしとなると、地図や観光情報ではわからないことがたくさんあります。私自身の体験も交えながら、周防大島に住むことの魅力をお伝えしています。

周防大島町では、2週間から4週間で島の暮らしを体験できる、『お試し暮らし住宅』を用意しています。滞在中に地域の方々や交流するなどして、お試し暮らしをされてから実際に移住されたという、嬉しい報告もあります。

移住されてからの暮らしについても、より充実したものになるように願っています。ご相談などがあればお声掛けください。お役にたてれば幸いです。